

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応にご尽力いただいている医療機関の皆様、
および関係者の皆さまに、心より感謝と敬意を申し上げます。

日本のライブエンタテインメント産業を担う事業者・スタッフの 現在とその未来を支援する基金「Music Cross Aid」

本日14日(火)13時～

第1回助成プログラム 申請受付開始

◆ 特設サイトにて、公募要項発表

◆ 同日、「Yahoo!ネット募金」でも、当基金の寄付の受付をスタートいたしました！
寄付ページURL <<https://donation.yahoo.co.jp/detail/5283005>>

一般社団法人 日本音楽事業者協会、一般社団法人 日本音楽制作者連盟、一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会の音楽業界3団体は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の継続が困難を極めている日本のライブエンタテインメント産業を担う事業者・スタッフの現在とその未来を支援する基金「Music Cross Aid」を、2020年6月11日(木)に創設しました。

業界内自助・共助の取り組みとしてスタートしたMusic Cross Aidでは、多くの音楽ファンやアーティスト、音楽関連企業からのご支援により、1ヶ月で3千万円以上の寄付金が集まりました。迅速な支援を目指し、集まった寄付金のうち一部を原資とした第一回助成プログラムの申請受付を2020年7月14日(火)13時より開始いたします。

第1回の助成プログラムでは、個人は20万円まで・50人程度、法人は100万円まで・10法人程度を寄付対象予定としており、支援対象者は、音楽コンサートのステージ制作、会場運営にかかわる専門スタッフ、サポートミュージシャン・ダンサー等フリーランスの個人の方、コンサートプロモーター、技術会社、プロモーション等の音楽ライブエンタテインメント産業を担う事業者(法人)です。申請期間は、2020年7月14日(火)～2020年7月21日(火)17:00までとなります。

詳細は、オフィシャルWEBサイトよりご確認ください。第2回目以降の助成プログラムについても、2020年8月以降、順次開始を予定しています。

報道関係者の皆さまに於かれましては、是非本件につきまして、ご取材・報道を賜ります様お願い申し上げます。

オフィシャルWEBサイト <<http://www.musiccrossaid.jp/>>

Yahoo!ネット募金でも寄付の受付がスタート！

YAHOO! ネット募金
JAPAN

Music Cross Aid

ライブエンタメ従事者支援基金

本日7月14日(火)より、「Yahoo!ネット募金」でも、
Music Cross Aid基金への寄付の受付をスタートいたしました。

- 名称：音楽業界最大の危機を救え！音楽ライブエンタメ従事者支援「Music Cross Aid」
- 場所：Yahoo!ネット募金（運営：ヤフー株式会社）
- URL：<https://donation.yahoo.co.jp/detail/5283005>
※ Tポイントを使って1ポイントから寄付できます。

助成プログラム募集要項 ※一部抜粋

※応募要件等の詳細については、特設サイトをご覧ください。

■ 支援の内容

第1回 支援対象の助成金と採択予定件数：

- 個人 収入の減少分を上限に 20万円まで 50人程度（予定）
 - 法人 売上（事業収入）の減少分を上限に 100万円まで 10法人程度（予定）
- ※寄付の集まり具合や審査委員会の判断等により採択件数や助成金額は変動することがあります。
※日本の音楽ライブエンタテインメント産業の現在と未来を守る事業・活動であれば特に資金の用途は定めません。

■ 支援対象

(1) 専門スタッフ（フリーランスの個人）

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響及び感染症拡大防止策の影響で、活動の休止・中止・延期・休業・閉館に追い込まれた音楽ライブエンタテインメント関連の専門スタッフ（フリーランスの個人）

(2) 音楽ライブエンタテインメント産業を担う事業者（法人）

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響及び感染症拡大防止策の影響で、活動の休止・中止・延期に追い込まれた音楽ライブエンタテインメント関連事業者（法人）

■ 審査方法

(1) 審査方法

- ・第三者の専門家による公平・中立な審査委員会を設置し、書面による審査を行います。

(2) 審査結果の通知・公表

- ・審査の結果（採択・不採択）の通知は、メールにて通知します。
- ・また、採択された団体・個人名や活動内容は、パブリックリソース財団等のWEBサイトで公表します。
- ・なお、採否の理由などに関するお問い合わせには一切応じかねます。

■ 審査基準

新型コロナウイルスの感染拡大等の影響の度合いや、音楽ライブエンタテインメントの存続と再開に向けた活動の状況、今後の社会における心と身体のゆたかさの回復・向上の視点を重視しながら、次の基準で審査を行います。

- 信頼性（応募要件をクリアしていること等）
- これまでの事業・活動実績
- 助成目的に合致（内容の適格性、独自性等） - 助成金を利用する活動内容が適正な内容であるか など
- 計画の妥当性・実現可能性（助成金の用途の適格性等） - 助成金を利用することで持続的な活動に資するか など
- 緊急性（緊急に取り組む必要性）
- 社会・地域への貢献度合いや意欲

■ スケジュール

2020年	7月14日(火)～7月21日(火)	公募
	7月22日(水)～8月14日(金)	審査
	8月17日(月)以降	審査結果通知開始
	8月24日(月)以降	助成金振り込み開始

※上記スケジュールに変更が生じる場合があります。

* 助成対象事業・活動の終了後1か月以内に報告書を提出いただきます。

「Music Cross Aid」概要

■基金の形態・運営スキーム

- 一般社団法人日本音楽事業者協会、一般社団法人日本音楽制作者連盟、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会の3団体が設置者となって、公益財団法人パブリックリソース財団との提携により、音楽ライブエンタメ従事者支援基金「Music Cross Aid」を創設しました。（今後、発展的に業界関連団体の参加や協力企業・機関、賛同人などの拡大を視野にいれています）
- 本基金が受け皿となって、法人・個人からの寄付金やAIDプロジェクト収益金を受付けます。
※AIDプロジェクト収益金：ライブイベント、放送配信、グッズ製作販売等
- 1件3,000円以上の寄付をいただいた法人・個人の方には公益財団法人パブリックリソース財団により領収書が発行され、税控除を受けることができます。

■寄付金の使途・支援の内容

- 本基金に寄せられた寄付金・プロジェクト収益金を原資として、新型コロナウイルス感染症拡大防止によって活動停止を余儀なくされた日本のライブエンタテインメント文化事業の担い手である事業者（法人）や専門スタッフ等（個人）に対して、今後の活動に必要な資金を助成します。

「Music Cross Aid」基金創設による支援フロー



A : 資金調達

- ①AIDプロジェクト：3団体によるAIDプロジェクト事業収益（ライブイベント、放送配信、グッズ製作販売等）
- ②事業者・団体からの寄付金
- ③個人からの寄付金

※法人・個人を問わず、1件3,000円以上の寄付に対して領収書発行＝税控除の対象

- パブリックリソース財団の企画・運営費：寄付金総額の上限10%を目途とします。事務局の企画・運営費は、基金の立ち上げ、リサーチ、公募プログラム策定と管理、公募、審査、領収証の発行、支援者の皆さまへの報告等にかかる費用となります。

B : 基金運営形態（公益財団法人パブリックリソース財団との連携により運営）

- 一般社団法人日本音楽事業者協会、一般社団法人日本音楽制作者連盟、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会の3団体が運営委員会を結成し、運営方針に関してパブリックリソース財団と協議するとともに、助成の成果報告や会計報告を受けます。
- 支援目的・対象ごとに「支援・助成公募プログラム」を組成し、助成希望者を公募し、公平・中立な第三者による審査委員会により支援・助成先を決定します。

C : 支援対象

- 新型コロナウイルス感染症拡大及び感染症拡大防止策の影響で、活動の休止・中止・延期に追い込まれた音楽ライブエンタテインメント関連事業者（法人）
- 新型コロナウイルス感染症拡大及び感染症拡大防止策の影響で、活動の休止・中止・延期に追い込まれた音楽ライブエンタテインメント関連の専門スタッフ等（個人）